

開設年度		開講部局	
2019		共通教育	
科目名			
平和学-広島・長崎講座-			
英語科目名			
Peace Research- Hiroshima & Nagasaki-			
前後期	開講区分	科目形態	単位数
前期	毎週	講義	2
(28年度以降入学生)中分類		(28年度以降入学生)小分類	
教養教育科目(教養基礎科目)		人文社会科学分野(選択科目)	
(25年度以降入学生)中分類		(25年度以降入学生)小分類	
b. 知力:人文・社会科学		12. 社会を学ぶ	
(24年度以前入学生)大区分		(24年度以前入学生)中区分	
教養科目		分野2	
受講学部学科			
全			
担当教員		担当教員所属	
木村朗		法文学部	
連絡先(TEL)		連絡先(MAIL)	
099-285-7654		kimura@leh.kagoshima-u.ac.jp	
オフィスアワー(授業時間外の対応)			
【オフィスアワー】毎週月曜日3限目【メール・HP】kimura@leh.kagoshima-u.ac.jp【授業後】【その他】			
共同担当教員			
アクティブ・ラーニング			
アクティブ・ラーニング(「その他」の内容)			
アクティブ・ラーニング(授業回数)			
理念 重要視する教育目標			
理念 教育目標			
理念 教育目標			
理念 教育目標			
理念 教育目標			
授業概要(目的・内容・方法)			
第二次世界大戦(アジア太平洋戦争)末期に米国によって日本の広島・長崎両都市に対して行われた原爆投下と戦後の被爆者の問題を取り上げて、日米双方の歴史認識のあり方や戦後の対応の変遷を多角的な視点から総合的に考察する。			
学習目標			
平和学の主要テーマの一つである「原爆と被爆体験」を取り上げ、特に原爆投下問題の歴史的背景や原因・目的などを考察することによって、平和学の基礎的知識および歴史認識を身につける。			
授業計画・試験の有無(16回[初修語は31回]に分け、回数、授業内容、自学自習等)			
授業計画:(1)平和学入門 (2)第二次世界大戦とアジア太平洋戦争 (3)マンハッタン計画と冷戦 (4)ヤルタ会談 (5)ポツダム会談 (6)原爆投下 (7)ソ連参戦 (8)日本降伏 (9)原爆神話の形成 (10)原爆報道の検閲 (11)原爆被害・被爆者問題の実相 (12)原子力の国際管理 (13)核実験開始とビキニ事件 (14)核抑止論の虚構性 (15)新しい核戦略と核廃絶運動の課題			
授業外学習(予習・復習)			

受講要件	成績の評価基準
特になし	レポート(45%)および試験(50%)、そしてアンケートなど(5%)で総合的に評価する。
教科書	参考書
適宜指定する。	適宜指定する。
地域志向科目の区分(平成27年度入学生用)	地域志向科目の区分(平成28年度以降入学生用)
実務経験のある教員による実践的授業	
その他	
<p>ビデオ上映を適宜行う。また毎回授業アンケートを取り、次回の講義でその一部を発表する。</p>	